CLASSIC INT

取扱説明書

株式会社　太陽インターナショナル
〒103-0027　東京都中央区日本橋 2-12-9
日本橋グレイスビル 1F
Tel：03-6225-2777　Fax：03-6225-2778
<URL> http://www.taiyoinc.jp

目　次

安全のための重要な注意事項.....3
はじめに.....4
梱包の中身.....4
設　置.....5
コントロールについて.....5
フロントパネル.....5
リアパネル.....6
入　力.....7
グラウンド端子.....8
リモートコントロール接続.....8
スピーカー端子.....9
パワーコードを接続.....9
CLASSIC INT の操作.....10
メニューツリー構成.....12
言語設定.....12
入力名を変える.....13
デフォルト名称にリセットする.....14
リモートコントロール.....14
About.....15
安全対策.....16
モジュロメーター.....18
TECHNICAL SPECIFICATIONS.....19

安全のための重要な注意事項

・本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
・定格電圧AC 100V にてご使用ください。
・付属の AC 電源ケーブルは、本機専用ケーブルですので他の機器に使用しないでください。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行ってください。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になります。
・AC電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いてください。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・AC電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、継ぎ足す等の加工は行わないでください。火災や感電の原因になります。
・本体を開けないようにしてください。本機の改造や部品の変更は絶対しないようにしてください。火災や感電、故障、ケガの原因になります。
・水などで濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないでください。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにAC電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことを確認してからお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
・本機を設置する際にはこの取扱説明書に従って確実に行うようにしてください。
・本機の取り出し、または、設置する際には細心の注意をし、慎重に行うようにしてください。落下等でケガや物損を招く原因になります。
・湿度の多い場所では使用しないでください。結露等により故障の原因となります。
・ゴミやホコリの多い場所での使用はお止めください。
・室内温度が5℃~40℃の範囲でご使用ください。
・振動する場所、または、傾斜した場所には設置しないでください。機器の転倒、落下等でケガや損傷の原因になります。
・本機は熱くなりますので、設置の項に従って適切な位置に設置してください。自然対流、放射など、通風をしっかり取れる場所に設置します。熱のこもりは、故障の原因になる場合があります。
・ 保護：雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するため、アンプのAC電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様にAC電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。また長期間使用しないときにも AC電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。

※ この取扱説明書をよく読みご使用ください。故障につながるような誤用の場合には、保証期間中であっても保証致しかねますのでご注意ください。

はじめに

ナグラは 1951 年の設立以来、プロオーディオ、国家安全機構、国防省などの分野で成果を上げて参りました。各分野に置いて、製品の安定性、パフォーマンス、音質の良さで高く評価されております。多くの賞を受賞しましたが、ハイエンドメーカーとしては例のないアカデミー賞、エミー賞をも受賞いたしました。より高性能な機器開発のために新技術を開発し応用していくという、ナグラ開発コンセプトは設立当初から一貫しております。
CLASSIC INT は 70 年以上の経験を持つナグラ技術陣が全力を挙げて取り組み、完成させたアンプで、自信を持ってお届けする製品です。
最高のアンプをお楽しみください。

梱包の中身

- NAGRA CLASSIC INT　本体
- 取扱説明書
- パワーコード+AC アダプター
- リモートコントローラー
- フューズセット（100-120V 用）
- マイクロファイバー手袋

付属品が梱包に入っていない場合には、すぐに販売店にご連絡ください。また、将来の移動に備えて、梱包材はお手元に保管されることをお勧めいたします。

設　置

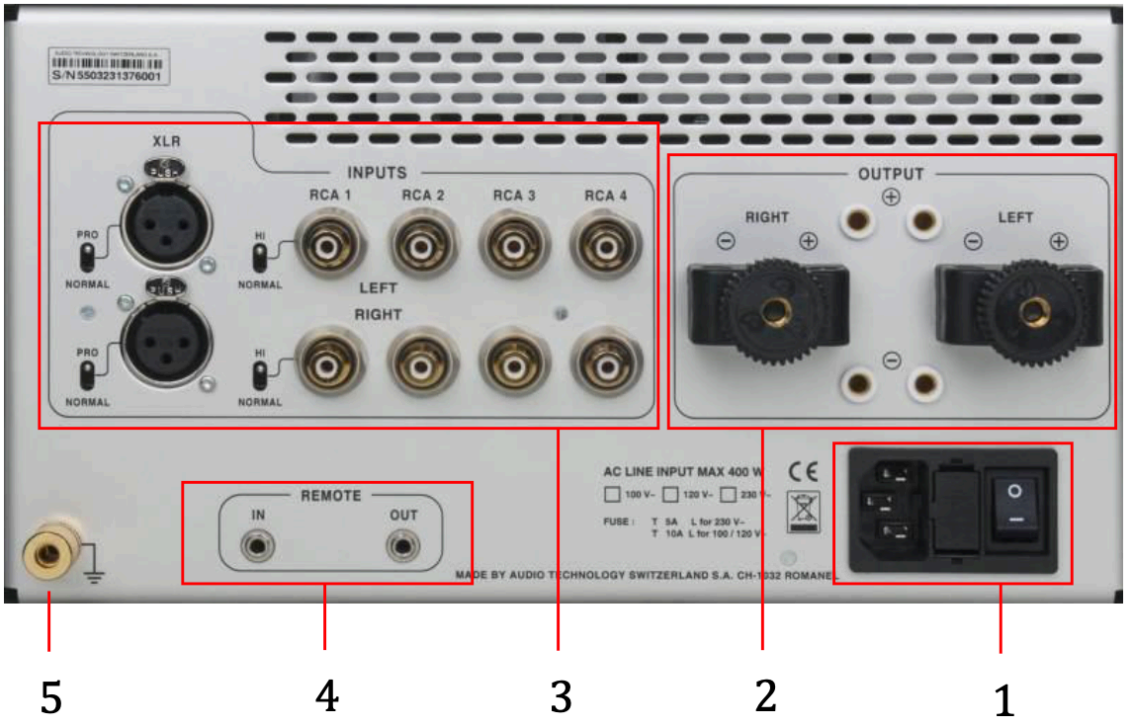
本機は室内で快適な環境に置かれることを前提に設計された機器です。火災、電気ショックなどの危険を避けるために、湿気の多い環境には設置しないでください。また、熱が逃げやすい環境に設置してください。
設置については、ナグラ専用の VFS L（共振吸収プレート）をご使用いただくとさらに安定し、音質向上につながります。 詳しくは販売店にご相談ください。

コントロールについて

フロントパネル

1、　モジュロメーター輝度調整スイッチ
2、　モジュロメーター
3、　LCD ディスプレイ
4、　コントローラーノブ（機能については p11 をご参照ください）
5、　0/+12dB ゲイン選択スイッチ
6、　ボリューム調整ノブ
7、　メインセレクター
8、　リモート受光部・赤外線センサー

リアパネル



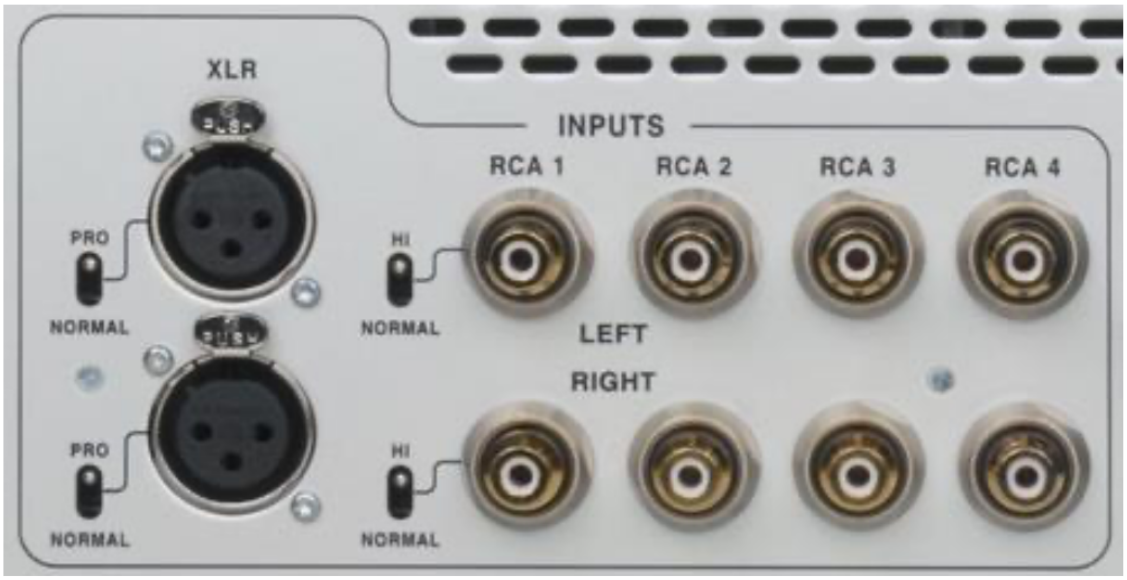
1. 電源コネクター、フューズホルダー、メインスイッチ
2. スピーカー出力端子
3. 入力端子
4. リモート用端子
5. グラウンド端子

フューズタイプ

交換用フューズがスペアフューズホルダーに入っています。

100-120V の AC 電源には
ファストブロウ FST 5×20mm 250V/T 10AL フューズを使用します。実際に使われるフューズは図の左側のものです。
特別な理由なく、フューズが次々に切断された場合には販売店、または当社にご連絡ください

入　力



CLASSIC INT は完全バランスアンプで、ステレオ XLR 入力が 1 系統用意されています。
アンバランスソースをご使用の場合、RCA 入力は 4 系統あります。

入力感度

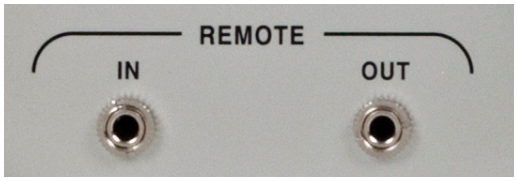
ソースごとに XLR, RCA 入力とも入力感度を調整することが出来ます。それによって、ソースに対しての完全なマッチングに対応できるのです。
XLR 入力では、NORMAL（ノーマル）に設定した場合、0～2V 入力信号に対応します。
PRO に切り替えた場合には、10V までの入力信号に対応します。
RCA1　入力においては、NORMAL, 0～2V 入力信号に対応します。
HIGH に切り替えた場合には、3V までの入力信号に対応します。

他の入力は、0~2V の入力信号に対応しますが、調整は出来ません。

グラウンド端子

場合によっては、他の機器のグラウンドを取るためにグラウンド端子を使用する場合もあります。グラウンドを取ることによって、不要なアースループを防ぐためです。
グラウンド端子が必要かどうかはお求めの販売店にお尋ねください。

リモートコントロール接続

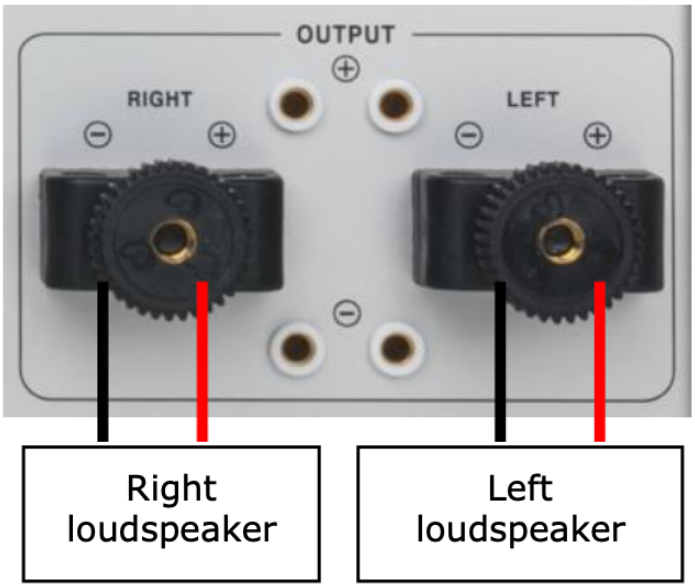


CLASSIC INT は Nagra MPS の外部信号によってオン、オフができます。

MPS の AMP（アンプ）出力と CLASSIC INT の Remote IN（リモート）とを接続します。
CLASSIC INT Remote OUT を他のナグラ機器と接続してリモートでオン・オフができます。

スピーカー端子

CLASSIC INT はスペード(Y)とバナナプラグの端子が使用できます。



スペードプラグのスピーカーケーブルの場合、カルダスコネクターを使用します。右、左、極性をお間違えのないようにしてください。
バナナプラグの場合には、白いコネクターがバナナプラグ用です。

パワーコードを接続

まず、パワーコードを接続する前に、メインスイッチがオフの位置にあることを確認してください。〇がオフの位置です。

メインスイッチ：〇の位置になっている場合にはアンプは完全にオフ。電源は入っておらず、消費電力はゼロです。

フューズホルダー

パワーコード用端子

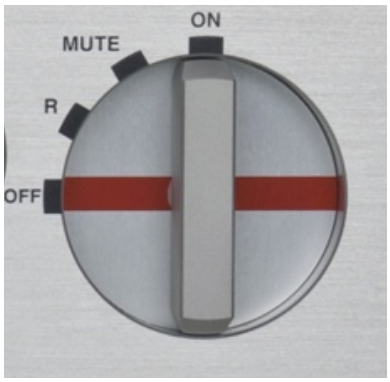
CLASSIC INT の操作

今までの設置が完全に終了した段階から進んでください。

パワーを入れる

アンプを使用するには、リアパネルにあるメインスイッチの位置をまずI(ON)にします。

Nagra メインセレクタースイッチは４つの位置があります。



OFF：スタンドバイ状態。本機には電力が入っていますが、電力消費は非常に少ない状態です。

R：リモートコントロールが使用できる位置です。

MUTE（ミュート）：本機は使用状態ですが、信号がミュートされています。音は出ません。

ON：本機は通常に演奏します。.

セレクターは以下の様にまとめられます。

メイン スイッチ	メインセレクター	動　作
○	どの位置でも	本機はオフの状態
I	OFF	スタンドバイ状態
I	R	本機はリモートによってオン･オフが出来ます。
I	MUTE	本機はオン、ですが音が出ません。 （ウォームアップのため、など）
I	ON	演奏状態

設　定

LCD 液晶パネルとコントローラーノブによって CLASSIC INT をカスタマイズすることで、ご使用のシステムに完全に統合できます。以下に機能などをご紹介します。

メニューへのアクセス方法

コントローラーノブによって簡単に行えます。押す、回すことで動作しますが、それぞれ異なる機能があります。
ノブを 3 秒以上そのまま押し続けるとメニューにアクセスします。
ノブを回すことによって、メニューが変わります。(様々なメニューがプログラムされたメニューツリーを体験することが出来ます) この状態から退出する場合には、2 秒以上ノブを押して下さい。

コントローラーノブを使用するには

コントローラーノブ	通常の動作	メニューの内部
回す	入力変更	スクロール、アップ、ダウン
押し続ける (3 秒)	メニューへのアクセス	戻る
一度押す	なし	有効にする、前へ進む
触らない	音楽を楽しんで下さい	内部メニューの保存

メニューをご理解いただいて、コントローラーノブに慣れること、それから設置を行うことをお進めします。まずは本機に慣れて下さい。

メニューツリー構成

このメニューツリーによって何が出来るか、どこにそのメニューがあるかがお分かり頂けます。複雑そうに見えますが、一旦 CLASSIC INT を設定すれば、頻繁にメニューを変更することはないでしょう。

Language/Langue（言語）	English(英語) Français(仏語)	
In.Names/Noms Ent (入力名)	Edit/Editer(編集) Restore/Restaure(保存)	XLR RCA 1 RCA 2 RCA 3 RCA 4
Remote/Appareil(リモート)	RC-5 DEVICE 1 DEVICE 2 DEVICE 3 DEVICE 4 DEVICE 5 DEVICE 6	
About/À propos(情報)	Soft V. / Version (ソフトウェアヴァージョン) Op. Time / T total（運転時間） S.Number / N. Série（シリアル番号） Amp Temp / T=x°C（温度）	

言語設定

言語を設定します。
最初にノブを 3 秒以上押し続けます。ディスプレィには次のように言語が表示されます。

Langue 言語メニューに入るには一旦ノブを押します。そしてノブを回して言語を選択します。.

English 希望する言語が表示されたら、ノブを一旦押してその言語を選択します。

ここでノブを回すと、その前のディスプレィに戻り、メニューの言語となります。

Language メニューから退出する場合には、ノブを 2 秒以上押し続けます。

入力名を変える

CLASSIC INT 入力には何種類かの文字が用意されています。名称は文字、数字、サインがあります。それは以下の順番で用意されています。

a…z_-*#/,.:;0123456789_A…Z

メニュー内部ではディスプティに« In. Names »と表示されるまで回します。

In.Names 設定メニューに入るためにノブを押します。

Edit « Edit » 編集。入力名称変更の場合、ノブを一度押します。これで入力名称が変更できます。

XLR XLR は入力名で最初に現れる表示です。（ディフォルト名称）
ここを選択することで、新しい名称を選ぶことが出来ます。

RCA 1 入力名称を編集、変更したい場合にはノブを回していきます。
例） RCA 1 (XLR の直後)

一例：RCA1 と言う名称を CDP(CD プレーヤー)に変更する。ノブを一度押す、変更されるべきアルファベットに下線がつきます。この場合、RCA の最初の文字 R になります。« R ».

ノブを回してアルファベットを探します。
文字の順番は：a…z_-*#/,.:;0123456789_A…Z

CCA 1 C を選んで、ノブを押し、次のアルファベットを探します。
« C ».（この C は最初の RCA の C です）

CDP 同様に、CDP となったところで、この名称を保存します。ノブを数秒押し続けると新しい名称が保存され、入力名« In. Names »のメニューへと戻ります。

デフォルト名称にリセットする

新しく入力した名称を出荷時のデフォルト名称に戻す場合、リセットすることが出来ます。
メニューの入力名に行きます。« In. Names »

In.Names ノブを一度押します。

Edit « Edit » 編集とディスプレィに表示されます。

Restore « Restore » と表示されるまでノブを回します。

Confirm ノブをもう一度押すと、 « Confirm »（確認） と表示されます。

もう一度ノブを押せば、出荷時の名称がリストアされます。

リモートコントロール

CLASSIC INT にはナグラ RCU Ⅲ リモートコントローラーが付属しています。
このリモコンは標準のフィリップス RC5 コードを使用しています。メニュー内では RC5 と呼ばれます。Nagra RCU または RCU Ⅱ リモートコントローラーをお持ちの場合、これらも使用可能です。 (Nagra CD 機器に付属しています).

Remote メニュー内部ではノブを« Remote »と表示されるまで回して、一度押します。ここでリモートコントロール選択に入ります。

RC5 « RC5 »と表示されますが、ここでノブを回して本機に使用したいリモートコントローラーを探します。 一例として： Device 1, etc… ここで、もう一度押すとこの選択が有効となります。

About

CLASSIC INT についての有用な情報を提供します。

About

Soft V.

ソフトウェアヴァージョン：CLASSIC INT のソフトウェアヴァージョンを確認できます。新しいヴァージョンをリリースした場合には、販売店にその旨をお知らせいたします。
また NAGRA のウェブサイトでもお知らせします。

Op. Time

動作時間 ： このカウンターは本機に何時間電源が入ってオンになっているかを知らせてくれます。このカウンターはリセットできません。

S.Numberr

シリアル番号 ： このシリアル番号も変更できません。万一盗難に遭った場合には、シリアル番号をナグラまでお知らせ下さい。ナグラ販売店網にて追跡します。

T=41°C

内部温度 ： アンプ内部の温度です。アンプのコンピューティングパワーは高温になりますので、アンプ自体熱を帯びます。41° は通常の温度です。

安全対策

CLASSIC INT にはアンプ本体とスピーカーのためにスムーズで安全な動作のためのいくつかの保護システムが搭載されています。

保護モード

アンプ本体またはスピーカーに対して、危険な可能性が発見された場合には CLASSIC INT はシャットダウンします。
これは保護モードと呼ばれます。
モジュロメーターの LED は左の写真のように赤く点灯します。

どんな場合に CLASSIC INT が保護モード « Protection mode »に入るのですか？

- メインパワーサプライ電圧が許容範囲から外れた場合
- 出力回路が連続してクリップした場合
- 出力回路のショート
- 出力へ DC が検知された場合
- 内部温度が高くなりすぎた場合

そうなった場合にはどう対処すれば良いですか ？

本機リアパネルのメインスイッチをオフ(◯)にして、30 秒ほどそのままにし、もう一度オン(I)にします。

Note : CLASSIC INT が特に理由もなくまたは、何回か続けて保護モードに入った場合には、メインスイッチをオフ(◯)にして、販売店または当社までご相談ください。

メインパワーサプライ電圧が許容範囲から外れた

CLASSIC INT パワーサプライは 100-120V で動作するように設計されております。部品の破損を防ぐために、本機は AC 電圧が範囲内から外れた場合にはスイッチが入りません。フロントパネルのモジュロメーターは赤く点灯して AC 電圧が正しくないことを知らせ、本機はオンにならず、動作状態には入りません。このような場合には、販売店、または当社までご相談ください。

クリッピングに対する保護

アンプを限界点まで追い込んだ場合にはクリッピングが起こる場合があります。ディスプレィには SAT と表示されます。

短時間のクリッピングは聞き逃されることもありますが、ハードクリッピングはアンプ、スピーカーを破壊してしまいます。そのために、連続クリッピングが発生した場合には、一秒後にモジュロメーターLED は赤く点灯し、本機は保護モードに入ります。

ショートに対する保護

スピーカーコネクターでショートが発生した場合、モジュロメーターLED は赤く点灯し、本機は保護モードに入ります。本機をオンにする前にスピーカーターミナルと配線をチェックして下さい。

DC に対する保護

アンプからの DC (direct current) はスピーカーを損傷する場合もあります。DC が本機の出力段において+/-2.5V 以上になった場合、モジュロメーターLED は赤く点灯し、本機は保護モードに入ります。

オーバーヒート

本機がヒートアップした場合は自動的にシャットダウンします。この場合、モジュロメーターは赤く点灯します。本機の温度がクールダウンするまで待ってから、再びスイッチをオンにしてください。

注意：室温が高い場合には、オーバーヒートを防ぐために、アンプの動作温度範囲が狭まります。室温が 30° 以下の快適な環境でご使用ください。

モジュロメーター

モジュロメーターは左右チャンネルの出力パワーを表示します。

針の色

L チャンネル（左） 黒
R チャンネル（右） 赤

スケール単位：RMS watts

輝度の調整

モジュロメーター左にあるトグルスイッチで行います。
最大輝度 から消灯 まで、7 段階の調整ができます。設定した状態はオフにしても自動的に記憶されます。

LED の状態によって、問題が発生した場合、原因が特定できます。表を参照してください。

LED	原因	アンプの状態	何をすれば良いか
赤	AC 電圧が正しくない	アンプは動作しない	販売店にご連絡をしてください。
アンプが演奏している			
ディスプレィが “SAT”	軽度のクリッピング	演奏状態	問題ないので、ボリュームレベルを下げてください。
アンプがシャットダウンし保護モード			
赤	重度のクリッピング	保護モード	アンプを再起動させ、ボリュームを下げてください。
赤	オーバーヒート	保護モード	アンプはオーバーヒート。温度が 60° 以下に下がると再スタートします。
赤	DC 問題発生	保護モード	スピーカー損傷を防ぐためにアンプをオフに。販売店にご相談ください。
赤	ショート	保護モード	スピーカー接続をチェックしてください。

TECHNICAL SPECIFICATIONS

出力	100 W RMS/8 Ω	各チャンネル
回路クラス	AB	
感度	XLR input	Normal 2V, Pro 10V
	RCA 1 input	Normal 2V, High 3V
	RCA 2 to 4 nput	2V
周波数帯域	<10 Hz ~ 80 KHz	+0 / -3 dB
クロストーク	>70 dB	
S/N 比	通常値 110 dB	Measured in ASA A
THD+N	< 0.05 %	@ 100 W
入力インピーダンス	>100 KΩ	RCA、 XLR
出力インピーダンス	60 mΩ	
入力端子	XLR	バランス
	RCA 1 to 4	シングルエンド
	3.5 mm ジャック	外部リモート用 IN ・ OUT
モニター	ステレオレベルメーター	
	赤 LED モジュロメーター	ハードクリップ、オーバーヒート、ショート、DC リーク
	ディスプレィ	ソフトクリップ
保護(アンプ動作停止)	オーバーヒート	60°C 以上
	DC 保護	+/- 2.5 V DC 以上
出力コネクター	Cardas CPBP	Rhodium terminals
	Banana plugs	
消費電力	最大 400 W	
	スタンドバイモード 1W	
重量	18 Kg	Net
サイズ	27.7 x 39.5 x 17.4 cm	
AC	90-110V	50 - 60 Hz